



2009年10月16日(金)

報道関係者各位

笹川平和財団

**日米共同政策フォーラムの開催**  
**「核のない世界」に向けて、ウィリアム・ペリー元米国国防長官も講演**

笹川平和財団(SPF)は、ワシントンDCに拠点を置くウッドロー・ウィルソン国際学術センターと協力し、10月21-22日にかけて日米共同政策フォーラム―「核のない世界」に向けた日米パートナーシップを開催します(於ホテル・ニューオータニ)。21日には、先日ノーベル平和賞を受賞したオバマ大統領の核軍縮政策に影響を及ぼしたウィリアム・ペリー元米国国防長官が記念講演を行います。

オバマ政権は、「核のない世界 (A World Free of Nuclear Weapons)」をめざし、アメリカがその牽引役となるという政策目標を打ち立て、世界の注目を集めています。しかし、核廃絶への道筋は容易なものではなく、アメリカの同盟国に対する拡大抑止とのバランスをはじめ、核セキュリティなど、日本とアメリカの間で議論を深め、コンセンサスを構築して、グローバルな広がりをもった協力を強化すべきテーマは数多く存在します。会議では、日米両国の専門家が核軍縮・不拡散の世界的潮流を踏まえたうえで、日米に今後課される役割について議論します。

今回のフォーラムは、核廃絶への道なりに横たわる、国際的なコンセンサスを必要とする数々の課題について、日米の専門家の間で議論するまたとない機会になることが期待されます。

プログラム

<10月21日(水)> 講演と対談の部(17:00-21:00)

基調講演：佐藤行雄(日本国際問題研究所副会長、元国連日本代表部大使)

記念講演：ウィリアム・ペリー(元米国国防長官、スタンフォード大学教授)

対談：ウィリアム・ペリー、谷内正太郎(早稲田大学教授、前外務事務次官、前政府代表)

モデレーター：手嶋龍一(外交ジャーナリスト、作家)

<10月22日(木)> パネルディスカッションの部(9:00-12:15)

パネル①「核軍縮時代の日米関係：拡大抑止の信頼性確保をめぐる」

パネリスト：神保謙(慶應義塾大学総合政策学部准教授)、ロバート・リトワック(ウッドロー・ウィルソン国際学術センター、国際安全保障プログラム・ディレクター)、チャールズ・ファーガソン(外交問題評議会シニア・フェロー)

パネル②「核の脅威削減のための日米グローバル・パートナーシップ」

パネリスト：古川勝久(科学技術振興機構社会技術研究開発センター・フェロー)、鈴木達治郎(東京大学公共

**【本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み】**

笹川平和財団事業部 小林・野崎・村田

TEL: 03(6229)5439 FAX: 03(6229)5473